

① 魚類は少しく下向 ▽田端魚市場近況

〔高田日報 明治42年12月26日〕

年末に於ける当田端の魚市場の近況は四五日前は天候平穩なりし為め地方近海も相当の漁あり特に東京方面よりの輸入少からざる為め相場は稍下向となり板付すくな (※蒲鉾)等は静岡市及佐渡より続々輸入ありて各種相場の概況は左の如しやや

鰯ぶり 近海産 丸掛百匁もんめ 十銭 (※一匁〓三・七五g)

蛸たこ 北海道産上 一箱 三円五六十銭

全上 北海道産下 同 壹円

鮪まぐろ 東京近海共 丸掛百匁 拾貳銭

鱣ふか 同 上 同 拾貳銭

同 同 身欠百匁 貳拾銭

梶木かじき 丸掛同 拾貳銭

鮭 北海道 同 同 拾参銭

鯛 近海 同 百匁 参拾銭

小鯛大 同 壹尾 拾参四銭

同 小 同 相場不定

シロナギ 丸掛百匁 拾銭

鮑あわび 佐渡 壹個 大拾六銭以下種々

同 東京 同 極大 五拾銭

静岡板付いたつけ (※蒲鉾) 百八十匁付 参拾参銭

佐渡同上 並 拾銭

同 上 大 拾五銭

田端製同上 二百四十匁 五拾銭

以上の如くにして目下の処とこ売行不況ならずと云ふい

② 歳末の魚価 ▼田端の市場〔高田日報 明治43年12月26日〕

年末に於ける高田町田端の魚市場は近頃天候嶮悪なる為め近海及び西頸城郡の漁場又は佐渡方面に於ても出漁せざりしが為殆んど入荷なかりしが昨日陸中釜石地方より鱧八十五六本の入荷がありて其取引は丸掛け一貫匁(※三・七五kg)七十五錢より八十五錢・身欠け十三四錢の相場にて手合▲小鯛は極めて品不足なるも割合に相場引立たず極大は一尾十八九錢・小は三錢より四錢にて取引あり▲平目は前記の如く西頸城郡漁場の不漁の為め二三日は更に入荷なく品切れの処昨日多少入荷せるが是れとても値段は割合に引立たず大形一尾十四五錢・小形は七錢以下にて売買あり而して小物は即ち霜鮭・其他の雑魚は大に格安なりし▲鮑は少許の入荷ありしも需要者の供給を充たす能はざるが大は一個十五六錢・小は六錢以下にて取引あり▲秋刀魚は三陸地方産は一尾一錢八九厘の相場なり板付けは佐渡産一本十二三錢・静岡産は三十二錢にて売買あり目下近海其他とも不風にて何れも歳末の需要を充たす能はざる状況等一般に価格引立たざる傾あり

③ 田端魚界は好況〔高田新聞 大正2年12月30日〕

世は不景氣風とは云ひ乍ら昨今の田端鮮魚界は四五日前より越年の用意やら歳暮贈答やらにて客足漸く繁く従て相場も上向の姿なるが昨日井崎問屋に就いて聞くに四五日前より三陸及常盤方面より毎日鱧鮫八十本乃至百本位入荷あり高価は丸掛け十貫目十三円より九円迄を往来し鱒は最近の払底となり僅かに能登物を以て景況を補ふ位、丸掛け十貫目十円、鯛・平目は地浜物漸くに見へ初め常磐物も亦入荷して景氣を添へ平目の地浜産十貫目十五円・常磐産は九円、鯛は高価は廿三円より拾七円、北海道産の蛸は品沢山にて箱三円より二円六十錢迄、小姓海老塩物は越年用として頗る需要あり至つて五百入一籠三円八十錢、シビは近海産更になく殆んどを大阪、名古屋方面よりの輸入品にして十貫目十五円位、佐渡産の蒲

銚五十梱位の入荷ありて上品廿八銭、中廿三銭、下拾八銭を唱へ居り売行の景況は矢張り諒闇（※明治天皇の崩御後の喪に服する期間）開け第一次の越年なれば例年に比しても至つて活況なりしと云ふ

④ 歳末の鮮魚界〔高田新聞 大正3年12月28日〕

せんぎよかい

田端此頃の鮮魚界は近海不漁の為め不振を極め東京廻り、越中・三陸・静岡・岩城、常陸の遠海地方の産を以て漸く景氣を持続しつゝあり／売行は年越しも眼前の事として相当に良好なるも何分不景氣なる為め其打撃尠からず／昨年の今期に比して遙かに不況なるが相場は不景氣に拘はらず高価を示し居れり／而して鮫は東京・三陸より毎日三十本内外、鱒は越中・佐渡方面より二三百本を主として其佐渡より小生海老、静岡・佐渡より板付（※蒲銚）、常磐より小鯛・鯛・平目の各種にして今百目（※百匁 〓 三七五g）に対する各相場を示せば

▲鱒（丸掛）十三銭 ▲フ力鮫（身欠き）十五銭 ▲小生海老（五百入箱）上一円八十銭、下一円二十銭 ▲板付佐渡品上二十八九銭、中二十、下十五銭、同静岡品三十五銭 ▲小鯛皿付二十銭 ▲鯛廿五銭 ▲平目上十二銭、上八銭

尚右の内板付は種根（※材料）払底の為め極めて不足を告げ小鯛も又非常の不漁にて随て割合に高価なり（井崎商店調）

ぎよきよつ

⑤ 田端魚況〔高田日報 大正四年一月一日〕

大晦日当日に於ける田端魚市場の間屋相場を聞くに魚類は一般に入荷不足にして鱈百目（※百匁 〓 三七五g）三十五六銭、小鯛又品不足の為め塩附一尾廿五六銭を唱へ、鱒は同十三銭、鰈同十五銭、鱧鮫庭切同十四五銭、蛸同十銭内外にて唯

秋刀魚は季節外れの品豊富とて一尾八厘位、ふくらげは大廿七八銭にて売買され板付は静岡廿二銭・佐渡上物廿五銭より漸時十二三銭の品あり北海道よりの竹輪は一本一銭五六厘なり

⑥ 歳晩の魚価 之も中々高い〔高田日報 大正6年12月25日〕

近頃魚類の価格も馬鹿に暴騰して来たので暮の相場如何を田端の兎ある魚問屋に聞く、近海は荒れて地の魚類は極めて少く皆遠隔地の地より送り来り／毎日百二三百梱を入荷するのだが高いなりに相当に販けて行くそうだ、能登・越中産の鰯は十貫目廿五六円にして毎日四五梱は来る、鮫は丸かけ十五六円位・身欠にして百目二十四銭、蒲鉾は佐渡は原産地なるが原料不足の為め入荷少く一本三十五銭より四十銭、小鯛は毎日十梱位入荷するが十貫目三十五七円、大鯛は極めて現品不足の体十貫目四十円以上、生章魚は常磐産十貫目十五六円、海老に至つては其影が見えない、此目魚は常磐産二十円より三十五円、生鮭三陸産十八円より廿円、竹輪三陸産日々四五十梱も入荷し一本二銭七厘より三銭位なり、以上の価格は問屋に於ける相場なれば小売人の手にては尚一割二分乃至二割の利益を掛けて売り捌く時は市中に於ける魚類の売価は従つて高価なるべく／暮から正月に懸けては最も魚類の需要期なれば高くとも高いだけに売捌けて行くと云ふ、而も此年越に当り毎日百二三十梱は入荷すべき見込にて其価格は当分の中甚だしい増減は見まいと景気好さそうである

⑦ 新井賑ふ 歳の市 塩物も鮮魚も 売れ行頗る良好

〔高田新聞 大正7年12月27日〕

昨今の今日此頃は三、四尺の降雪であつた新井の昨日の歳の市は僅かに一、二寸

で処々路面を頭はし車も櫛も自由でない、併し朝来快晴で遠近より押し寄せて来る客は忽ち街頭に満ち満ちた、何れの商店も夫れ相応の商ひ高であつたが小錢払底の為め商ひの仕不足であつたらし(い)塩物相場は

△塩ブリ上物(百目) ※百匁 〓三七五g) 二十五銭、荒卷(全) 二十五銭、石狩荒卷(全) 十八銭、塩鮭(全) 十五銭、塩引上物(全) 十二銭、並物十一銭、数の子(生干全) 卅五銭、田造(全) 二十五銭、煮干(一袋) 二十四銭、烏賊(百目) 四十銭、蜜柑(駿河産一箱) 九十銭前後(横山商店)

右の如くである、又新井鮮魚会社へは前夜来エイヤ〜と引き込まれた鱧鮫や六尺大のかじき、鰯などに鱈、小鯛、さば、烏賊、たこ其他が表街路迄並べ立てられた、時節柄売行が良好で出来値は

東京廻りめかじき(丸掛) 二百五十掛、能登鰯(丸掛) 三百五十掛、常陸廻りフ

力鮫(丸掛) 二百三十掛、地浜平目(丸掛) 四百掛、全小鯛大形一尾五百五十掛、

小形一尾四百五十掛、全鱈一掛十四銭、全大さば一尾三十五銭より四十五銭、

越中折入生イカ十五銭、地浜生海老一銭七厘、越中北〇十三銭より二十二銭、

北海道上酢だこ三百掛、地浜真だら三百五十掛、かに大六十銭・中四十銭

で忽ち荷捌きが付いた当日の売上高は一千円、本月に入つてからの売上累計は二万円以上に達する中々の上景気である

⑧ 年末の鮮魚 Ⅱ フ力鮫は少ないが近年稀に品数豊富Ⅱ

〔高田新聞 大正7年12月28日〕

時計の振子の一振り毎、途行く人の一步毎に年末歳尾の気分が押迫つて来る、今日此頃市内の鮮魚界は冬至以来天候持直したる為め近海一般は勿論越中・能登・三陸方面も相応に漁獲あり引続き大入荷あり、本年末は近年稀なる魚類豊富なる大晦日を迎ふる事が出来る、唯フ力鮫丈は甚だ少なく例年百五十本位の需要があ

るのが当年は僅か其の二割位しか入つて居らぬ、所で▲鯛、平め、小鯛は凡て品薄
で地物が主であるが価格は先づ普通と云ふ所であらう、鯛は四円、平目は三円、小
鯛は皿付廿五銭位より三十銭位▲ぶりⅡ京阪地方上値の為め能越の沿岸に漁れた
のは大部分其方面へ輸られ当市は僅かに入るのみである、価格は三円（一貫※三・
七五kg）であるから、一貫目の鰯で六円、年取り魚として無くてはならぬものだけ
に安くない▲フカ鮫Ⅱ此れもぶりと同じく年取り魚だが産地は三陸が主なる所で
本年は非常に不漁の為め入荷も僅かなもの、従つて一貫目四円から五円（身欠け）
トてもフカくと食べられない▲板付Ⅱ当節は佐渡・糸魚川から移入品が来るので
市内の蒲鉾屋も昔のやうに食はず寝ずに働く程でも無いさうだが、此の旅物板付
は相当に食へるので需要が多く四十銭から五十銭までの間、十五六種類もあつて
味合も色々好みに従つて安直の間に合ひます▲塩多びⅡ本年は殆んど皆無、小塩
多びでも一尾二銭位▲塩鮭Ⅱ荒巻は例年の倍値段十七銭から廿六七銭まで信用あ
る店へ行けば間違ひ無いものがある▲其他Ⅱかに四十銭から八十銭まで、ふくら
げ三十五銭以上、たらは丸掛十銭位に大暴落、君魚十銭、浅ば五銭より二十五銭位
まで種々ある、小しび一本二円前後、あら一貫目（丸掛）二円五十銭、たこ百目（※
百匁）五十銭、水たこでも三十銭位と云ふ景気である

▲塩物払底 ◆直江津市場の売行

直江津の歳晩に於ける海産物は荒巻鮭、塩鰯（北海道もの）は一時品潤沢を告げし
も信州各地好況の為め売行好く目下出払ひの商状にあり、尚ほ例年売行き好き
堅鮭類は売行き悪しく正反対を示し相場は七百五十匁より八百匁位、又塩鰯百目
二十銭より二十七八銭、荒巻鮭二十円より二十五円位、煮干・数の子は居控り鱒も
変はりなく九百目より一貫百目位なり